



「九条の会」は、平和を求める世界の市民と手をつなぐために、
憲法九条を激動する世界に輝かせたいと考えます。

3000万人署名 ひとまわり大きく広げて！

いままで、ののしりあっていた米朝、首脳会談で一転、対話による平和解決への道が開かれました。これは世界史の大転換と言えるでしょう。

安保法制、辺野古基地、九条改定、すべて北からの脅威を口実に、安倍政権の悪政はこれを根拠にしていたわけで、それが失われます。

被爆国日本はますます意気高く、平和憲法を掲げ世界をリードする時が来たのです。九条の会を含む市民アクションでは3000万署名に取り組み4月末現在1350万筆を超えました。当会では5月末現在911筆を送りました。

自民党歴代最悪と言われた安倍政権、今でも労働時間の過労死ライン越えへの緩和、博打を奨めるカジノ法などだれもが「うんざり」と言っています。

ご近所の洋品店の奥さんが『「美しい国日本」が聞いて呆れる。アメフト問題の日大と全く同じ、そんな安倍さんに憲法を云々する資格はない。』と言っていました。

「九条の会・いすみ市」では署名を既にした人に呼びかけて署名用紙を置かせていただき、ご近所、知人にひとまわり広げていきます。

自民党はこの国会で改憲原案を発議（九条2項に自衛隊を加える案）するスケジュールをもっていましたが大まかにきています。しかしまだあきらめてはいません。秋の臨時国会提出をねらっています。

3000万人署名達成に近づけて行く活動こそが安倍政権に9条改憲発議を断念させ追いつめて行くことになります。

暑い夏、お身体ご自愛いただき、さらに署名をよろしく願いいたします。

（署名用紙は同じものです。一人1回のみです。9月30日第4次集約を行います。）

和久 伸一

私たち「九条の会・いすみ市」も別紙「被爆者は核兵器廃絶を心から求めます」に賛同してこの署名への参加を呼びかけます。

九条を生かし、戦争をさせないために、私たち日本を取り巻く現在の状況下では、核兵器の禁止の実現が最も重要であることが、日々明らかになっています。

昨年2017年7月7日、国連では「核兵器禁止条約」が会議出席国124カ国のうち122カ国の賛成で採択されました。この条約は戦後の70余年の被爆者をはじめとした草の根の国際的努力によって実ったものです。条約の内容は、核兵器の「開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵、移転」の禁止、更に「使用、使用の威嚇」などが禁止されています。

この運動を進めた国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」（ICAN）にはノーベル賞が与えられました。

しかし唯一の被爆国である日本国政府はこの国連の会議に欠席し、条約の署名に背を向けています。この条約を実らせるために、被爆者と多くの人々の願いをひとりでも多くのかたに知らせていきたいと考えます。

2018年7月11日 九条の会・いすみ市 運営委員会

被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、

核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことをすべての国に求めます

- ・2020年国連総会に提出します。
- ・この署名は、これ以外の目的では使用しません
- ・年齢制限はありません。
- ・住所は市町村名までの記入でかまいません。



**9月30日第4次集約日
全国市民アクション**

3000万署名継続中

核兵器廃絶国際署名

学習会

いずれも

場所/大原文化センター

時間/AM10:00～12:00

8月25日(土)

「戦争の反省から 日本の役割を考える」

9月22日(土)

10月20日(土)

11月24日(土)

12月22日(土)

「映像を観る会」



今後の学習

9条を活かす日本

- ・憲法条文
- ・本

〔「9条を活かす日本」
15%が社会を変える。〕

伊藤千尋著

(元朝日新聞記者・九条の
会世話人)を
基本資料として行います
本の内容

※世界に誇れる
「戦争をしない、させない」日本
※ただ「生きる」から
「幸せに生きる」日本へ

戦前から戦中 戦争直後
資料や持ち物がありましたら
ご持参ご説明ください

(資料提供・和久)

新会員のひとこと

御宿町のWさん

孫たちの将来を考えると暗たんたる思いになるような状況が続いています。

でも、その中でもできることを探っていきたいと思います。

御宿町のWさん

個々の闘いを積み重ね、力強い全体の力としたい。

山田のTさん

少しでも協力出来ればと思います。

よろしくお願いします。

大原駅前 署名活動



8月6日(月) 広島原爆祈念日

核兵器廃絶国際署名

9月2日(日)

3000万署名

AM10:00～12:00

AM 9:50 (おらげ集合)

この会報と同時に次の書類をいつも持参しましょう

1. 九条の会呼びかけ文(2018年6月1日)と署名用紙
「3000万人署名を達成し 安倍9条改憲に終止符を」
2. ヒバクシャ国際署名呼びかけ文(2016年4月)と署名用紙
「被爆者は核兵器廃絶を心から求めます」

これからの方針確認

1. 全国市民アクションへの取り組み(3000万署名) 継続
2. 核兵器禁止国際署名への取り組み
3. 入会呼びかけ

お知らせ

※ 9条の会・岬

上映会「ザ・思いやりpart2」

7月24日(火) 13時30分開場 14時開会

いすみ市岬公民館2階視聴覚室 運営協力費800円

問い合わせ先 平井さん

※ 千葉県反核平和の火リレーランナー募集中

7月23日～31日

いすみ市では7月27日(金) 10時10分市役所通過予定

ほつ
と
タイ
ム

昨年他界した母は、1955年頃から福島県郡山市で原水爆禁止運動の活動をしていた。

戦後復興の只中、ビキニ環礁水爆実験で第五福竜丸被爆を知ると、人々は皆「原爆許すまじ」と募金や署名活動が活発になり、地元の名主から勤労者までこぞって協力し断る人はいなかったという。

ICANが話題の今こそ、憲法と共に被爆国日本の取るべき道筋を国民の中から盛り上げていきましょう。

R.Kawashima



活動報告

4月・歌声交流会・花見

5月・憲法記念日・3000万署名活動

- ・全国憲法集会・前田 他、会員有志参加
- ・憲法記念日・東京新聞意見広告掲載
- ・いすみ市大原文化団体連絡協議会総会・川島参加

7月・オスプレイ暫定配備反対県民集会・前田参加